

アッガラーム・アレイクム

イスラマバード日本人学校
教諭 島山 稔

もう日本では新学期が始まって1週間たった頃でしょうか。イスラマバード日本人学校では、学校の運営規定で4/10がスタートとなっています。おとついで着任式・始業式を終え、明日は入学式です。

日本の家にはないもの

パキスタンでの生活も1年がたちました。日本に比べると不便なことが多々ありますが、今ではそれが当たり前となって生活しています。今回は我が家でとった写真から、日本の家ではふつう見られないものを紹介します。ただし、あくまで「我が家」の写真です。家屋は日本と同じような一軒家に住んでいます。一般的なパキスタン人の家とは、ずいぶん違うということを付け加えておきます。

天井・壁

天井には大きなファン（扇風機）がついています。暑い国ですので、たいへん役立ちます。壁に照明のスイッチと並んで扇風機の風量を調節するつまみがついています。



台所

水道水をそのまま飲むと、ほぼ間違いなく腹痛がおそってきます。なので、飲料や食事に使う水は、必ずミネラルウォーターを使います。普通のペットボトルだとすぐになくなってしまいますので、巨大ボトルのものを使っています。

野菜を洗ったり、食器を洗った後のすすぎには浄水器を通した水道水を使っています。

右下は日本製の電子レンジです。こちらの電圧は220Vなので、日本の電化製品を使う際には、変圧器が必要になります。こちらでも電化製品は手に入りますが、日本製の性能の良さは、格段に違います。



バスルーム

通常パキスタン人は、トイレトペーパーは使用しません。用を足した後は、水を使います。日本で一般的になりつつあるウォシュレットはありませんが、「ムスリムシャワー」と呼ばれる取っ手のついたシャワーがついていることがあります。

右の写真は洗面台です。歯磨きにも、必ずミネラルウォーターを使っています。

ムスリムシャワー



水道・温水

屋上にある水のタンクです。パキスタンの一般家庭を含め、すべての家には水タンクがついています。屋上から送水することで水圧が生じます。



屋上に水をあげるためのポンプです。ポンプの下には地下の水タンクがあります。すなわち水タンクが2つあるのです。日本では水道から常時水が供給されるのが当たり前ですが、この国ではそうではありません。地域によっては2日に1回であったり、水不足になればさらに状況は悪くなります。万が一タンクが空になってしまったときには、バキュームカーのような大きな給水車を呼びます。



左は水圧を高めるためのウォータープレッシャーです。自然落下による水圧のため、特に2階は水圧が低くてシャワーも使えません。なので、この機械が必要になります。



右は「ギザ」と呼ばれる温水器です。お湯の温度が低くなると自動的にガスが燃焼します。常に種火がついていることになりませんが、屋外に設置されているため風が強い火は消えてしまっ、ガスだけ漏れていることがあり、ちょっと危険です。



その他



UPS（無停電装置）です。1日に数回の停電がありますので、これが大いに役立ちます。1～2時間の停電があっても、居間や寝室など限られた部屋の電気は使えます。

停電があっても、エアコン等すべての電化製品が使いたい人は、ジェネレーター（発電機）を家に設置することになります。かなり高額ですし、燃料のガソリン代もかかりますので、我が家は購入をあきらめました。

左上は屋上にある衛星放送受信のためのディッシュです。日本で使われているディッシュはかなり小さいですが、こちらでは巨大なものが屋上に置かれています。これがあるおかげでNHKの国際放送も受信できます。



左下はなんてことはないホーキです。こちらではこのような柄のないものが一般的です。



右の写真は、「チョキダール・ボックス」と言われる警備員用の建物です。電話ボックスよりやや大きいくらいでしょうか。治安の安定しないパキスタンですので、24時間警備員をつけています。勤務は2交代でやってくれています。

